

安全データシート

(表紙)

化学品及び会社情報

製品名

グリーンガード・エイト

販売会社名

丸和バイオケミカル株式会社

住所

東京都千代田区神田須田町 2-5-2

担当部門

開発本部 登録・環境グループ

電話番号 / FAX

Tel: 03-5296-2313 Fax: 03-5296-2323

推奨用途

殺虫剤

使用上の制限

農薬登録以外の使用は不可

本製品に関するその他の情報については、次ページ以降の安全データシート(SDS)を参照してください。

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	グリンガード・エイト
会社	日本曹達株式会社
住所	〒100-8165 東京都千代田区大手町2-2-1
担当部門	農業化学品事業部普及部
電話番号	03-3245-6178
FAX 番号	03-3245-6084
緊急連絡先情報	農業化学品事業部普及部
電話番号	03-3245-6178
SDS 作成日	2019年02月19日
SDS 改訂日	2022年01月20日(02版)

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理的危険性	引火性液体	区分3
健康有害性	急性毒性（経口）	区分4
	生殖毒性	区分1B
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分1（中枢神経系、視覚器、全身毒性）
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分3（麻酔作用）
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分1（中枢神経系、視覚器）

ラベル要素

絵表示（GHS JP）



注意喚起語（GHS JP）

： 危険

危険有害性（GHS JP）

： 引火性液体及び蒸気
飲み込むと有害
眠気又はめまいのおそれ
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
臓器の障害（中枢神経系、視覚器、全身毒性）
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害（中枢神経系、視覚器）

注意書き（GHS JP）

安全対策

： 使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
容器を密閉しておくこと。
容器を接地しアースをとること。
防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。
火花を発生させない工具を使用すること。

- 静電気放電に対する措置を講ずること。
蒸気、ミスト、スプレーを吸入しないこと。
取扱い後は手、顔をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
- 応急措置
- ： 飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。
口をすすぐこと。
皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。
皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
気分が悪いときは医師に連絡すること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
火災の場合：消火するために炭酸ガス消火剤、粉末消火剤、泡消火剤、霧状の水を使用すること。
- 保管
- ： 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
施錠して保管すること。
- 廃棄
- ： 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

- 化学物質・混合物の区別 : 混合物
一般名 : 酒石酸モランテルを有効成分とする農業用液剤(樹幹注入剤)

化学名	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法番号	安衛法番号	
酒石酸モランテル	8.0	C12H16N2 OS・ C4H6O6	(5)-3822	なし(公表化学物質扱い)	26155-31-7
メタノール	45.2	CH3OH	(2)-201	なし(公表化学物質扱い)	67-56-1
精製水等	46.8	H2O	適用外	適用外	7732-18-5

《酒石酸モランテル の別名》

トランス-1, 4, 5, 6-テトラヒドロ-1-メチル-2-[2-(3-メチル-2-チエンル)ヒニル]ピリミジン酒石酸塩

4. 応急措置

応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類、靴を直ちに脱ぐこと。
多量の水と石鹸で洗うこと。

管理番号： N0-6190301

- 皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合：水で口の中をよく洗う。
医師の診察／手当てを受けること。
無理に吐かせてはいけない。
- 医師に対する特別な注意事項**
その他の医学的アドバイスまたは治療：対症的に治療すること。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤：霧状の水
炭酸ガス消火剤
粉末消火剤
泡消火剤
- 使ってはならない消火剤：情報なし。
- 火災危険性：燃焼によって有毒ガスを生成する。
- 消火方法：火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。
消火作業は風上から行う。
周辺火災の場合、速やかに容器を安全な場所に移す。
移動できない場合、容器に放水し、冷却する。
- 消火を行う者の保護：燃焼により毒性・有害性ガスを発生するので、自給式呼吸器を含む消火保護具を着用のこと、
風上に立ち蒸気を避ける。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

- 一般的措置：作業の際は、保護具を着用する。保護具については「8. ばく露防止及び保護措置」を参照の事。
人を退避させ、飛散・漏出した周辺にロープを張り、「立入禁止」及び「火気厳禁」の措置を行う。
眼、皮膚、衣類につけないこと。
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
十分な換気を確保する。
風上から近づく。

環境に対する注意事項

- 環境に対する注意事項：排水溝または水路への侵入を防ぐ。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- 封じ込め方法：ウェス、スコップ等でできるだけ空容器に回収する。必要なら砂等をまいてできるだけ回収する。
- 二次災害の防止策：火花を発生させない工具を使用すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
- 安全取扱注意事項 : 作業の際は、保護具を着用する。保護具については「8. ばく露防止及び保護措置」を参照の事。
眼、皮膚、衣類につけないこと。
取扱い後はよく手、顔を洗うこと。
蒸気、ミスト、スプレーを吸入しないこと。
使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。ー禁煙。
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- 接触回避 : 「10. 安定性及び反応性」を参照のこと。

保管

- 安全な保管条件 : 子供の手の届かないところに置くこと。
火気や直射日光を避け、食品と区別し、なるべく低温な場所に密栓して保管すること。ただし、0℃以下の場所には保管しないこと。
過塩素酸、過酸化ナトリウム、過酸化水素、クロム酸、硝酸などの一緒に保管しないこと。
- 安全な容器包装材料 : データなし

8. ばく露防止及び保護措置

《酒石酸モランテル のデータ》

厚生労働省

管理濃度 : 設定されていない

日本産業衛生学会

許容濃度(産衛学会) : 第3種粉塵：吸入性粉塵 2mg/m³、総粉塵 8mg/m³

年度 : 2021

ACGIH

許容濃度 (ACGIH) : 設定されていない

年度 : 2021

《メタノール のデータ》

厚生労働省

管理濃度 : 200ppm

日本産業衛生学会

許容濃度(産衛学会) : 200ppm(260mg/m³) (皮)

年度 : 2021

ACGIH

許容濃度 (ACGIH) : TWA 200 ppm, STEL 250 ppm (Skin)

年度	: 2021
設備対策	: 屋内使用の場合、装置を密閉化し、局所排気装置又は全体排気装置を設置する。 取扱い場所の近くに、シャワー・洗眼器を設置する。
呼吸用保護具	: 有機ガス用防毒マスク
手の保護具	: ゴム・塩ビ等の不浸透性手袋
眼の保護具	: ゴーグル
皮膚及び身体の保護具	: 材質を特定しないが、長袖・長ズボン。つなぎ服の着用を推奨する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
形状	: 澄明水溶性液体
色	: 淡黄色
臭い	: わずかに特異なにおい
pH	: 4.3
融点	: データなし
凝固点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: 24.9 °C (消防法危険物の判定について、アルコール類判断フローチャートから非危険物とした。)
自然発火点	: 445 °C
分解温度	: データなし
可燃性	: データなし
蒸気圧	: データなし
相対密度	: 0.94 (20°C)
密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: データなし
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	: データなし
爆発限界 (vol %)	: データなし
動粘性率	: 2.2 mm ² /s
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 危険な反応は知られていない。
化学的安定性	: 通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 情報なし。
避けるべき条件	: 高温。直射日光。裸火。熱。火花。
混触危険物質	: 酸。塩基。強酸化剤。
危険有害な分解生成物	: 燃焼によって有毒ガスを生成する。一酸化炭素。二酸化炭素。 ホルムアルデヒド

11. 有害性情報

総合的な有害性情報 : 本品の毒性データはないため、急性毒性、皮膚刺激性、皮膚感作性、眼刺激性のデータは、類似組成のグリンガード・NEO（酒石酸モランテル 20.6%、メタノール 41.0%、水残り）のデータを引用した。

急性毒性（経口） : 飲み込むと有害
下記データから、区分4とした。

急性毒性（経皮） : 区分に該当しない

急性毒性（吸入） : 区分に該当しない(分類対象外)（気体）
分類できない（蒸気）
分類できない（粉じん、ミスト）

グリンガード・エイト	
LD50 経口 ラット	300 - 2000 mg/kg (♀)
LD50 経皮 ラット	> 2000 mg/kg (♂♀)

皮膚腐食性/皮膚刺激性 : 区分に該当しない
刺激性なし(ウキ)

グリンガード・エイト	
pH	4.3

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分に該当しない
刺激性なし(洗眼群)、軽度の刺激性(非洗眼群)(ウキ)

グリンガード・エイト	
pH	4.3

呼吸器感作性 : 分類できない

皮膚感作性 : 区分に該当しない
陰性(モレット)

生殖細胞変異原性 : 分類できない

発がん性 : 分類できない

生殖毒性 : 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
区分1Bのメタノールを0.3%以上含有するため、区分1Bとした。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 臓器の障害(中枢神経系, 視覚器, 全身毒性)
眠気又はめまいのおそれ
区分1のメタノール(中枢神経系, 視覚器, 全身毒性)を10%以上含有するため、区分1(中枢神経系, 視覚器, 全身毒性)とした。区分3(麻酔作用)のメタノールを20%以上含有するため区分3(麻酔作用)とした。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害(中枢神経系, 視覚器)
区分1(中枢神経系, 視覚器)のメタノールを10%以上含有するため、区分1(中枢神経系, 視覚器)とした。

誤えん有害性 : 分類できない

グリンガード・エイト	
動粘性率	2.2 mm ² /s

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）	: 分類できない 製品のデータがなく、下記データから分類できないとした。
水生環境有害性 長期（慢性）	: 分類できない 製品のデータがなく、下記データから分類できないとした。

酒石酸モランテル	
水生環境有害性 短期（急性）	下記データから、区分3とした。
水生環境有害性 長期（慢性）	分類できない
LC50 - 魚 [1]	> 100 mg/l (コイ, 96hr)
EC50 - 甲殻類 [1]	54.6 mg/l (オオジソコ, 48hr)
ErC50 藻類	18 mg/l (24-72hr)
NOEC 藻類 慢性	7.65 mg/l (72hr)

メタノール	
水生環境有害性 短期（急性）	魚類（ブルーギル）での96時間LC50 = 15400 mg/L (EHC 196, 1998)、甲殻類（ブラウンシュリンプ）での96時間LC50 = 1340 mg/L (EHC 196, 1998)であることから、区分に該当しないとした。
水生環境有害性 長期（慢性）	急性毒性区分に該当しない、難水溶性ではない（水溶解度=1000000 mg/L (PHYSPROP Database, 2009)）ことから、区分に該当しないとした。
LC50 - 魚 [1]	15400 mg/l
EC50 - 甲殻類 [1]	1340 mg/l

残留性・分解性

グリンガード・エイト	
残留性・分解性	データなし

生体蓄積性

グリンガード・エイト	
生体蓄積性	データなし

土壌中の移動性

グリンガード・エイト	
土壌中の移動性	データなし

オゾン層への有害性

- オゾン層への有害性 : 分類できない
- オゾン層への影響 : モントリオール議定書に指定された物質を含有しない。
- その他の有害な影響 : 追加情報なし

13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。
処理を外部に委託する場合は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。
- 汚染容器及び包装 : 容器の内容物を完全に除去してから廃棄する。

14. 輸送上の注意

国際規制

- 海上規制情報 : IMOの規定に従う。
- 航空規制情報 : ICAO/IATAの規定に従う。
- 国連番号 : 1993
- 正式輸送品名 : その他の引火性液体（他の危険性を有しないもの）
- 国連分類 : 3
- 容器等級 : II
- 海洋汚染物質 : 非該当

国内規制

- 陸上規制 : 適用法令を遵守する。
- 海上規制情報 : 船舶安全法の規定に従う。
- 航空規制情報 : 航空法の規定に従う。

特別な輸送上の注意

- : 荷役中の取扱いは慎重丁寧に行い、転倒・落下・衝撃等により容器を傷め、内容物を飛散させてはならない。
輸送中は、直射日光や雨水の浸透を防止するため、被覆すると共に、容器を動揺、摩擦、転倒、落下が起こらないように積載・輸送する。

その他の情報

- : 補足情報なし。

15. 適用法令

国内法令

労働安全衛生法

- : 第2種有機溶剤等（施行令別表第6の2・有機溶剤中毒予防規則第1条第1項第4号）
メタノール
作業環境評価基準（法第65条の2第1項）
メタノール
危険物・引火性の物（施行令別表第1第4号）
メタノール
名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9）
メタノール（政令番号：560）
名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令

	第18条第1号、第2号別表第9)
	メタノール
毒物及び劇物取締法	: 非該当
消防法	: 非該当
大気汚染防止法	: 特定物質（法第17条第1項、施行令第10条） メタノール 揮発性有機化合物（法第2条第4項）（環境省から都道府県への通達） メタノール
化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）	: 非該当
農薬取締法	: 該当

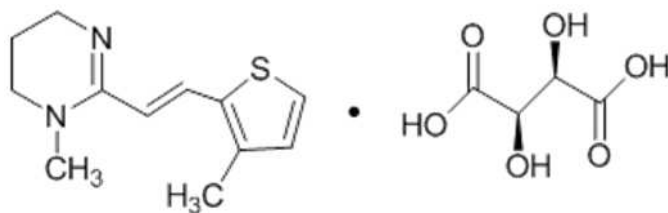
16. その他の情報

引用文献	: 農薬登録データ メタノール：NITE CHRIP の GHS 分類結果
------	--

記載内容は現時点で入手できた資料、情報データに基づいて作成していますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は通常の見扱いを対象としたものなので、特殊な見扱いの場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、利用してください。

中毒したときの緊急連絡先

公益財団法人 日本中毒情報センター（事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る）
 中毒110番 一般市民専用電話 (大 阪) 072-727-2499 (情報料無料)
 365日24時間対応
 (つくば) 029-852-9999 (情報料無料)
 365日9～21時対応
 医療機関専用有料電話 (大 阪) 072-726-9923 (1件2000円)
 365日24時間対応
 (つくば) 029-851-9999 (1件2000円)
 365日9～21時対応
 医療機関の方が一般市民専用電話を使用した場合も、
 情報料1件につき2,000円を徴収します。



CAS 番号	: 26155-31-7
化学名	: 酒石酸モランテル

